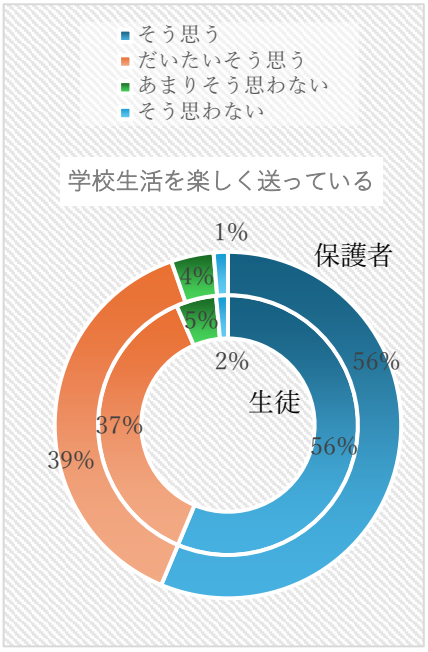
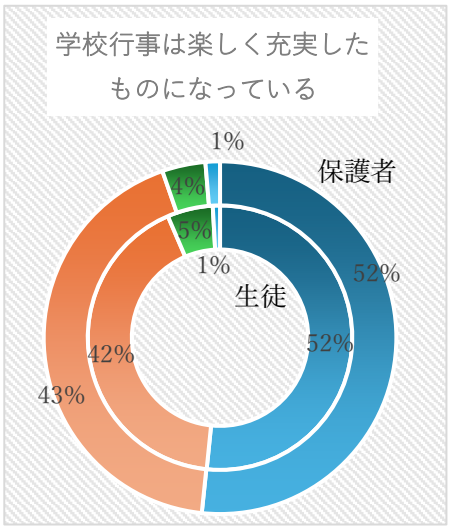
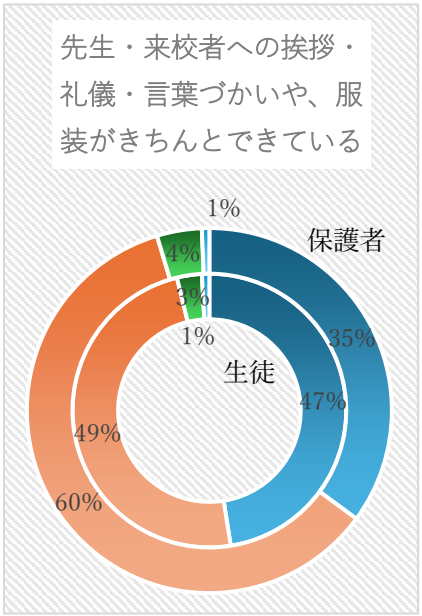
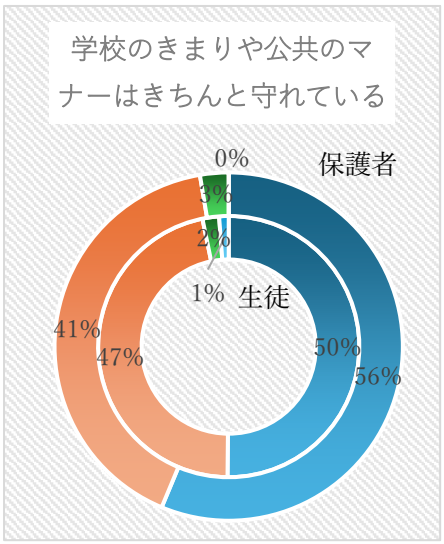
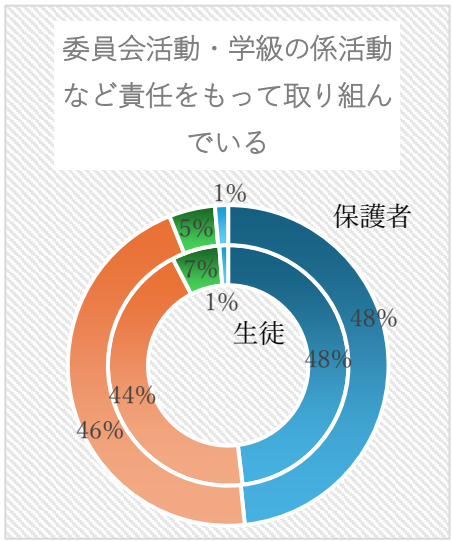
京都市立下鴨中学校　令和8年度前期　学校評価アンケート結果
《保護者･生徒》

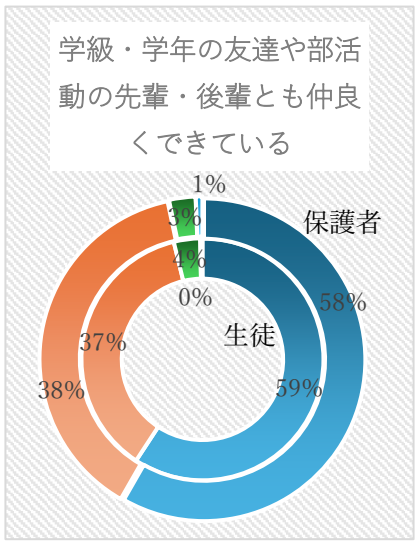


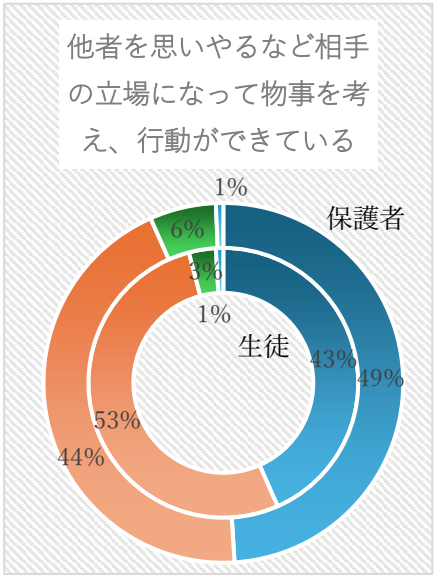


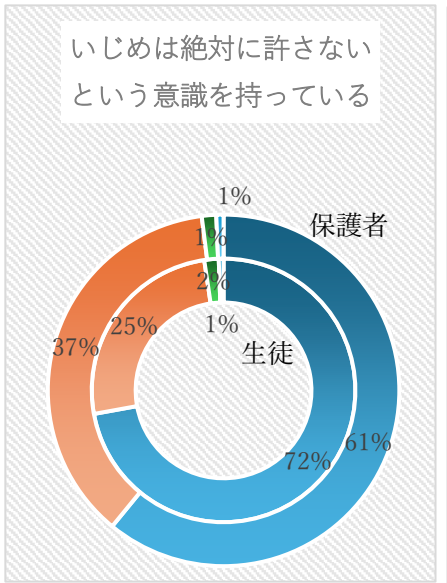


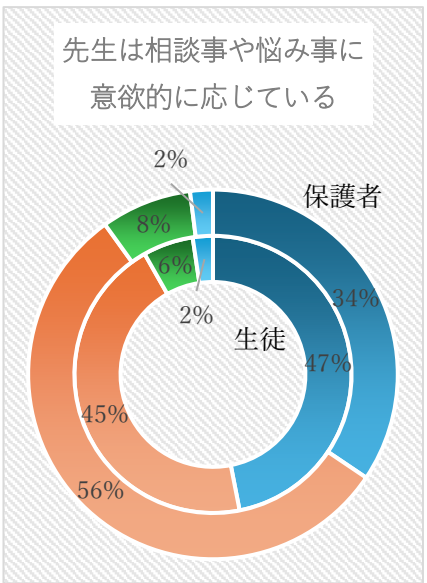


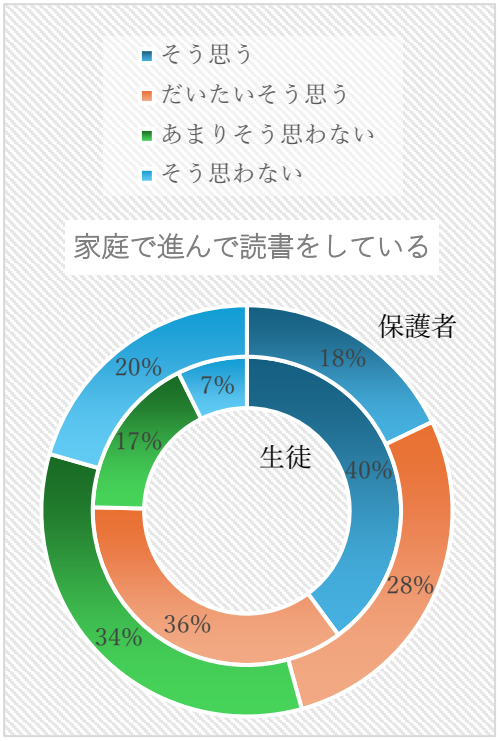


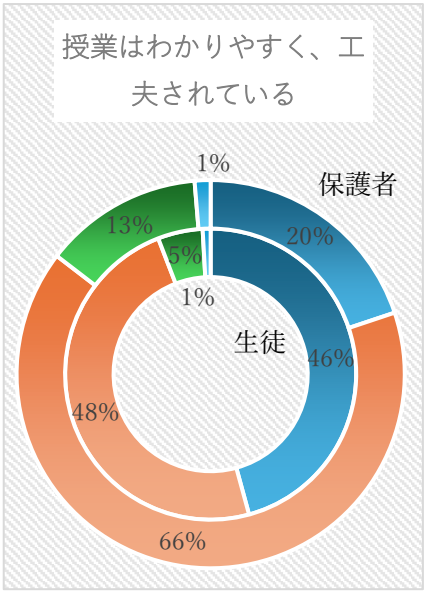


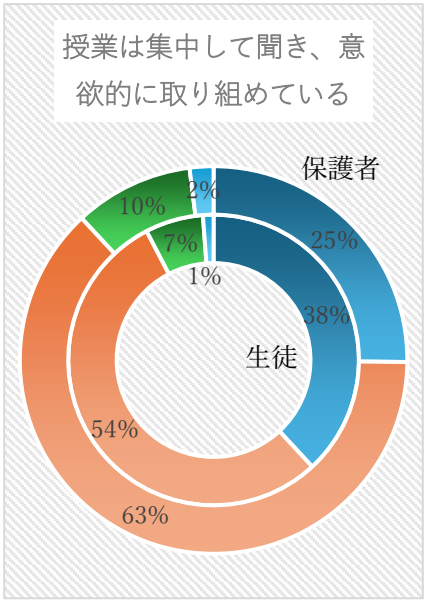


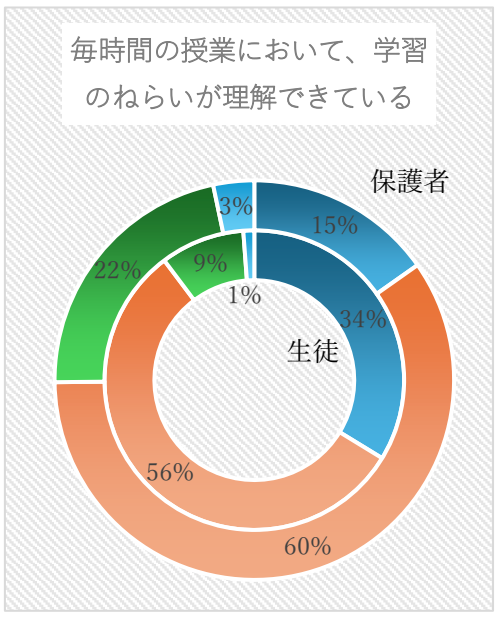


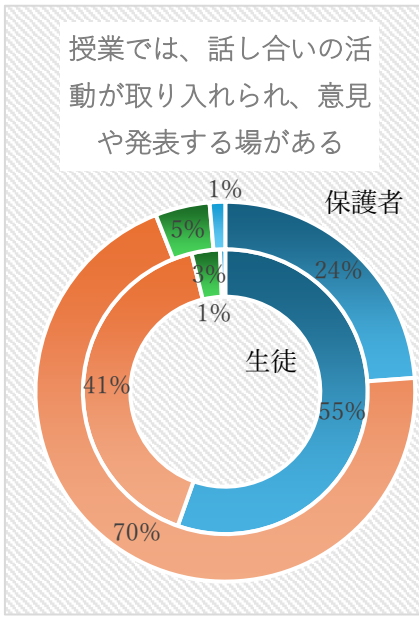


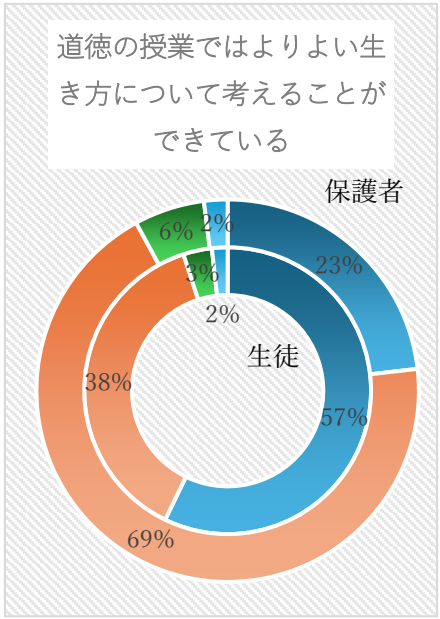

そう思う
だいたいそう思う
あまりそう思わない
そう思わない
家庭で進んで読書をしている
保護者
生徒
18%
40%
7%
20%
28%
17%
34%
36%

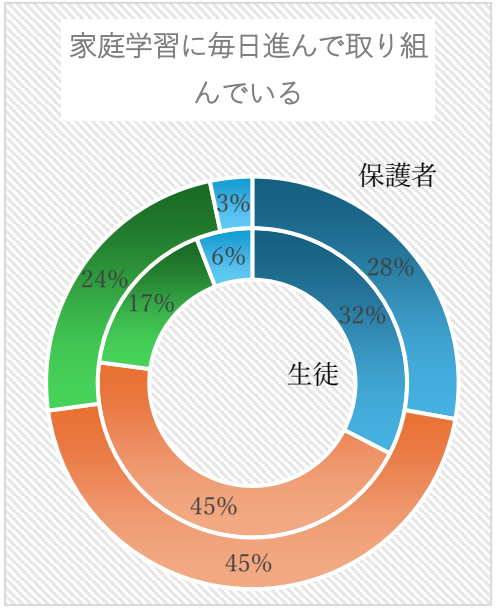

授業はわかりやすく、工夫されている
保護者
生徒
1%
20%
46%
13%
5%
1%
48%
66%

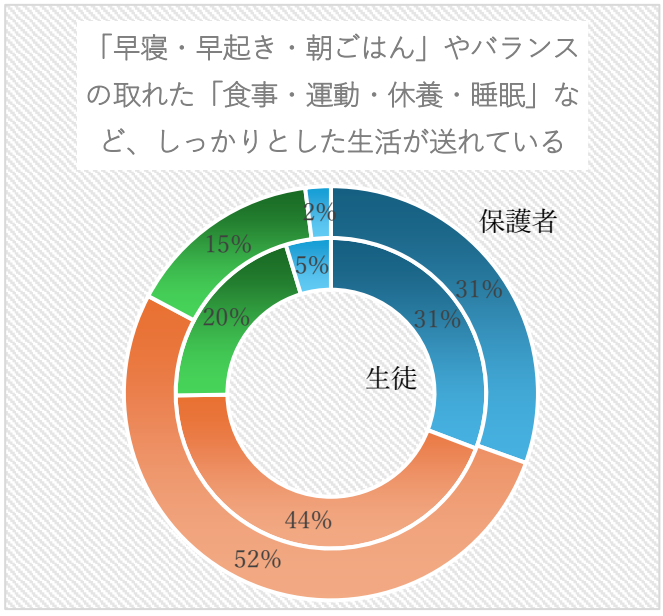

授業は集中して聞き、意欲的に取り組めている
保護者
生徒
2%
25%
38%
10%
7%
1%
54%
63%

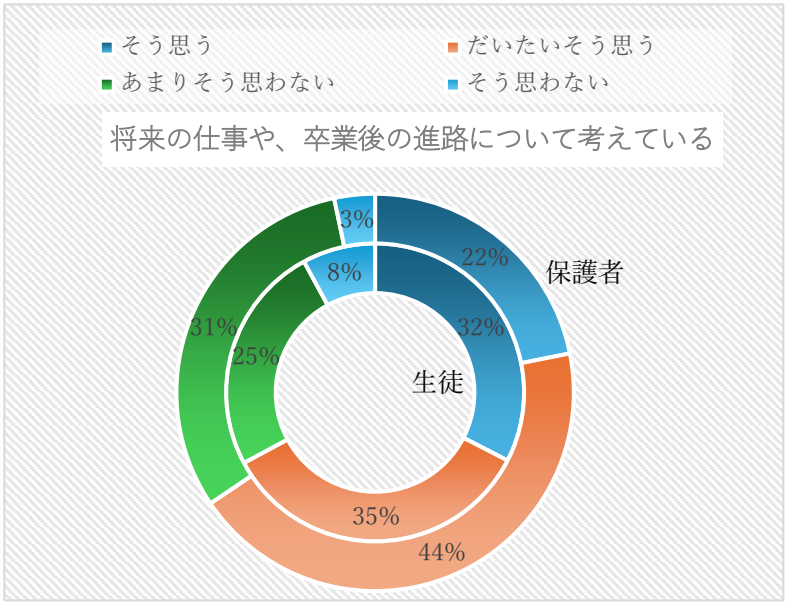

毎時間の授業において、学習のねらいが理解できている
保護者
生徒
3%
15%
34%
22%
9%
1%
56%
60%

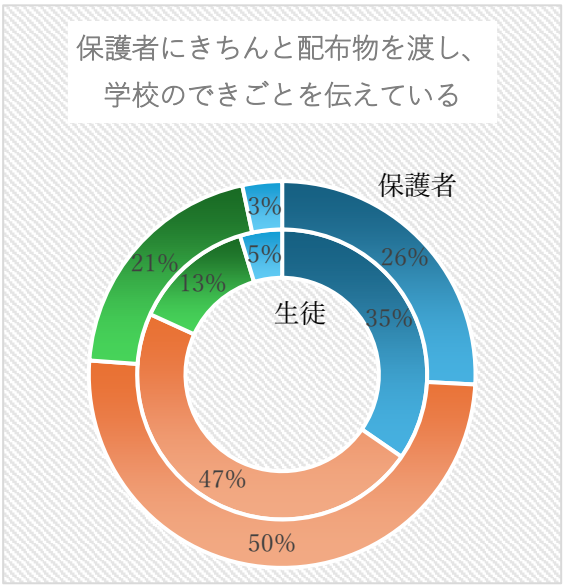

授業では、話し合いの活動が取り入れられ、意見や発表する場がある
保護者
生徒
1%
24%
55%
5%
3%
1%
41%
70%


道徳の授業ではよりよい生き方について考えることができている
保護者
生徒
2%
23%
57%
6%
2%
3%
2%
38%
69%


家庭学習に毎日進んで取り組んでいる
保護者
生徒
3%
28%
32%
6%
24%
17%
45%
45%


「早寝・早起き・朝ごはん」やバランスの取れた「食事・運動・休養・睡眠」など、しっかりとした生活が送れている
保護者
生徒
2%
31%
31%
15%
5%
20%
44%
52%





《教職員》

	生徒は、学校生活を楽しく送っている	生徒にとって、学校行事は楽しく充実したものになっている	生徒は、先生・来校者への挨拶・礼儀・言葉づかいや、服装がきちんとできている	生徒は、学校のきまりや公共のマナーはきちんと守れている	生徒は、委員会活動・学級の係活動など責任をもって取り組んでいる	生徒は、学級・学年の友達や部活動の先輩・後輩とも仲良くできている	生徒は、他者を思いやるなど相手の立場になって物事を考え、行動ができている	生徒は、いじめは絶対に許さないという意識を持っている	生徒の相談事や悩み事に意欲的に応じている	生徒は、朝読書の時間や家庭で進んで読書をしている	授業はわかりやすく、工夫している	生徒が、集中して聞き、意欲的に取り組める授業をしている	生徒が、毎時間の授業において学習のねらいが理解できるようにしている	授業では、話し合いの活動が取り入れられ、意見や発表する場があるようにしている	生徒が、よりよい生き方について考えることができる道徳の授業をしている	生徒は、家庭学習に毎日進んで取り組んでいる	生徒は、「早寝・早起き・朝ごはん」やバランスの取れた「食事・運動・休養・睡眠」など、しっかりとした生活が送れている	生徒は、将来の仕事や、卒業後の進路について考えられている	生徒は、保護者にきちんと配布物を渡し、学校のできごとを伝えている
そう思う	30%	40%	25%	20%	45%	35%	35%	50%	60%	30%	70%	55%	70%	60%	55%	25%	15%	10%	10%
だいたいそう思う	70%	60%	75%	75%	55%	65%	65%	50%	40%	65%	30%	45%	30%	40%	45%	75%	80%	90%	85%
あまりそう思わない	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	5%
そう思わない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

※各質問項目の回答について、「そう思う」「だいたいそう思う」を【肯定的評価】として分析しました。

1．全体傾向

項目	保護者肯定的	生徒肯定的
学校生活を楽しく送っている	９５％	９４％
学校行事は充実している	９５％	９４％
友達や先輩後輩と仲良くできている	９７％	９６％
いじめを許さない意識	９８％	９８％

学校生活の満足度は非常に高く、生徒・保護者ともに 9 割を超える肯定的評価を示していることから、安心して学校生活を送ることができる環境が形成されていると考えられます。特に人間関係や学校行事に対する評価が高く、学校の教育活動や生徒指導が良好に機能していることがうかがえます。

2．下鴨中学校の強み

（1）安心・安全な学校生活の基盤

項目	保護者			生徒		
	そう思う	だいたいそう思う	肯定合計	そう思う	だいたいそう思う	肯定合計
学校行事は楽しく充実している	５２％	４３％	**９５％**	５２％	４２％	**９４％**
きまりやマナーを守っている	５６％	４１％	**９７％**	５０％	４７％	**９７％**
友達や先輩後輩と仲良くできている	５８％	３８％	**９７％**	５９％	３７％	**９６％**
他者を思いやる行動ができている	４９％	４４％	**９３％**	４３％	５２％	**９５％**
いじめは絶対に許さない意識を持つ	６１％	３７％	**９８％**	７２％	２６％	**９８％**

生徒間の良好な関係づくりや互いを認め合う環境づくりが成果として現れています。学級活動や部活動、学校行事等を通した人間関係形成の取組が効果を上げていると評価できます。

（2）授業改善

項目	保護者肯定的	生徒肯定的	教員肯定的
授業はわかりやすく工夫されている	８６％	９４％	１００％
授業で話合い活動が取り入れられている	９４％	９６％	１００％

生徒の授業満足度が高く、授業改善や主体的・対話的な学びの実践が定着していると考えられます。教員自身も高く評価しており、学校として授業力向上に継続的に取り組んできた成果があると見られます。

3. 課題（認識差）が見える項目

（1）読書習慣について

進んで読書をしている	そう思う	だいたいそう思う	肯定合計
保護者	１８％	２８％	４６％
生徒	４０％	３５％	７５％
教員	３０％	６５％	９５％

保護者は家庭での読書量を十分とは感じていない一方、生徒や教員は比較的高く評価しています。家庭で望まれる読書量と生徒の考えている充分な読書量に認識差があり、家庭や図書館の蔵書利用などを促進していく事が必要と思われます。

（2）家庭学習について

家庭学習に毎日進んで取り組んでいる	そう思う	だいたいそう思う	肯定合計
保護者	２８％	４５％	７３％
生徒	３３％	４５％	７７％
教員	２５％	７５％	１００％

教員評価が高い一方で、生徒・保護者は約 75%前後にとどまっています。課題への取組は行われているものの、自主的・継続的な学習習慣としては十分な実感に至っていない可能性があります。

4. 総括

下鴨中学校の教育活動については、生徒・保護者ともに学校生活や学校行事に対する満足度が高く、友人関係やいじめ防止意識においても高い評価を得ることができました。授業においては、生徒の理解や主体的な学びを促す取組が進み、授業改善の成果が表れていると考えられます。一方で、家庭における読書習慣や家庭学習の定着、基本的生活習慣については認識差が見られました。また、教員が意識している教育活動の成果が保護者に十分伝わっていない項目もあると考えられるため、今後は家庭・地域への情報発信を充実させるとともに、家庭と連携した取組をより一層推進していきたいと考えています。後期に向けても、学校教育目標である「自ら考え、自ら律し、共に行動できる生徒の育成」を実現できるように、より一層教育活動を充実させていきたいと考えていますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。